

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(5月下旬掲載予定)

より魅力的な公共施設を目指して

島田典朗 議員

問 公民館や図書館のあり方は。

答 市民ニーズや利用状況を踏まえながら、より効果的なあり方について検討していきたい。限られた財源の中で、多様化する市民ニーズに対応できるような複合化の検討は必要であると考えている。

問 公共サービス拠点である市役所本庁舎周辺及び大井総合支所周辺の今後の整備方針は。

答 市民生活を支える重要な公共サービスの拠点として、公共サービス機能の充実に努めていく。

問 市民ニーズに応じ、専門性を高めた公共施設を整備し、より人が集まる公共サービス拠点へと発展させては。



誰もが通いやすい学区へ

問 市中心部にある学校へは児童生徒数が集中しやすく、周辺部の

学校は少なくなりやすい。また、旧市町境の通学区域にも課題がある。全市的な通学区域の見直しの考えは。

答 学校の適正規模の確保や通学距離、将来的な人口推計による児童生徒数の把握、大規模開発の状況の踏まえつつ、旧市町境の入り組んだ通学区域の見直しも視野に入れながら検討を重ねる必要がある。

子どもの読書推進条例の制定は

西 和彦 議員

問 子どもの読書離れへの対応として、子ども読書活動推進計画を策定し取り組みを進めているが、この読書活動をより推進する立場から、行政の責務等を定めた読書推進条例の制定は。

答 現在、子ども読書活動推進計画に基づき各関係機関などと連携しその推進に向けて全力を注いでいる。条例については、他自治体の事例などを参考に制定に向けた調査・研究をしたい。

要となってくる県道ふじみ野朝霞線との交差点部分の検討状況は。

答 交差点の形状や信号機、横断歩道の位置などが県及び県警とほぼ合意できたので、今後詳細設計に入っていくたい。

(仮称) 苗間みほの公園の整備は

問 県教職員住宅も撤去され用地の掘削や擁壁の取り壊しなどの工事が始まったが、公園整備の状況と南側交差点改良工事の内容は。



(仮称) 苗間みほの公園予定地

待機児童ゼロを目指して

山田敏夫 議員

問 子育て支援について、過去3年間における定員枠の拡大数と新年度の待機児童の見込み、そして今後の対策は。

答 3年の間に約500人分の定員の枠を拡げることができた。国が定めた基準による待機児童数は、昨年より減少し、25人である。来年度も定員枠を拡大し、待機児童をゼロとする計画を立てている。

高齢者が住みやすいまちを

問 新年度から住民主体のボランティアなどによるサービスの提供を目指した新しい介護予防・生活支援サービス事業が始まる。掃除、洗濯、ゴミ出しなどの多様なサービスを実施するために、

火災に強い住宅・まちづくり

新井光男 議員

問 感震ブレイカーや火災報知器の普及は。

答 他市の調査で感震ブレイカーの応募率が低いと普及は難しい。火災報知器は、火災予防キャンペーンの際に点検・交換を呼びかける。

問 東京オリンピック・パラリンピックに市民参加を

全国学力テストの結果の分析と今後の対策

渡辺 大 議員

問 全国学力テストでの全国平均を目指すなど、学力向上についての基本的な考え方は。

答 教育は、学びの種を蒔いてその成長を見守って長い時間を掛けて多角的な成長を促す

問 粗大ごみの処理に年間約1億2000万円がかかる。できるだけ早く有料化すべき。

答 今年度策定の一般廃棄物処理基本計画の中で検討する。

問 本市の事業系ごみ処理手数料は、10kgあ

歴史・文化遺産を活かしたまちづくり

問 市民とともに歩み魅力あるまちづくりを目指して、近現代の観光資源の保存と活用を。

答 旧大井村役場は人が賑わう施設、回漕間屋福田屋は、展望と歴史景観が楽しめる伝統文化を体験できる拠点に整備する。



ふじみ野市第3庁舎

市役所第3庁舎の改善

問 社会福祉協議会事務所があるが、施設の建て替え方針は。

答 建て替え計画はない。

問 社会福祉協議会の意向は。

答 施設に関する要望はない。

子ども医療費の一部負担の導入は

問 子ども医療の適正受診に向け、一部負担や所得制限、窓口で明細書の交付をしては。

答 一部負担金の徴収は考えていない。医療費の軽減のために、ジェネリック医薬品の啓発等に努める。